

筑波大学附属病院 内科専門研修プログラム(地域枠、修学生)

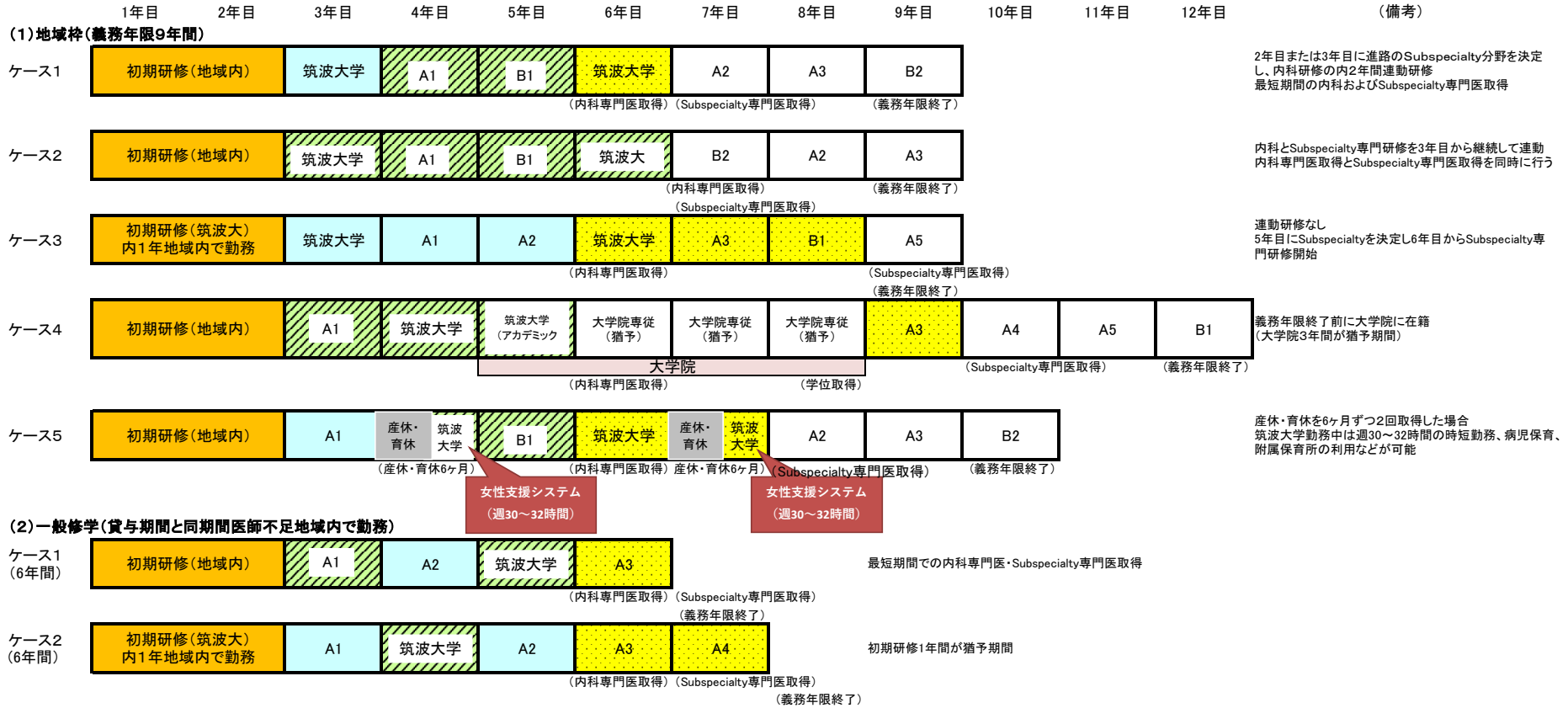
特徴

- 1) 内科10分野13領域のすべてに経験豊富な指導医・専門医を多数擁しており、1人1人に担任教員がついて、個々に合わせた多彩なキャリアを支援します
- 2) 10分野のSubspecialty分野のプログラム・カリキュラムの基幹施設であり、内科専門研修からSubspecialty専門研修へと一環して研修できます。また、Subspecialty専門研修修了後に至る長期的視野のもと育成します
- 3) 最短期間で内科専門医とSubspecialty専門医の取得をすることが可能であり、早期取得を目指す場合「連動研修」が可能です。
- 4) 進路のSubspecialty分野を決めずに3年間内科を幅広く研修することが可能です(病院総合内科に所属します。)
- 5) 専門研修を行いながら大学院進学が可能です。(大学院専従中や留学中は義務年限猶予期間となります)
- 6) 研修中の出産・育児、介護など個別の状況にあわせて研修をアレンジします。

研修例:(あくまで例であって、個別にアレンジします)

オレンジ色: 初期研修期間
 水色: 内科専門研修期間
 黄色: 内科系Subspecialty専門研修期間※
 緑色: 内科・Subspecialty連動研修※期間

※Subspecialty専門研修に関しては、各分野において2019年6月現在日本専門医機構と協議中であり、今後正式に決定します。
 ※※内科・Subspecialty連動研修とは内科専門医を取得するための症例経験とSubspecialty専門医を取得するための症例経験を並行して行っていく研修でプログラムを並行に進めるものです。(詳しくは内科学会ホームページをご参照ください)
 連動研修として認定される条件は各Subspecialty分野ごとに決まっております。(詳しくは各Subspecialty分野ホームページ等をご参照ください)



内科専門研修研修病院群

基幹病院	筑波大学附属病院
A群病院群(医師不足地域内医療機関)	茨城県立中央病院、茨城西南医療センター、茨城東病院、日製日立総合病院、ひたちなか総合病院、水戸医療センター、水戸協同病院、水戸済生会病院、友愛記念病院、神栖済生会病院、北茨城市民病院、茨城県西部メディカルセンター、小山記念病院、土浦協同病院なめがた地域医療センター、日鉦記念病院、常陸大宮済生会病院
B群病院群(医師不足地域外医療機関)	石岡第一病院、いちばら病院、茨城県立医療大学付属病院、牛久愛和病院、霞ヶ浦医療センター、総合守谷第一病院、筑波学園病院、筑波記念病院、つくばセントラル病院、筑波メディカルセンター、土浦協同病院、東京医大茨城医療センター、取手北相馬保険医療センター医師会病院、とりで総合医療センター、龍ヶ崎済生会病院